

釧路湿原川レンジャーNews

2022 Vol.2

第3回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

「第3回釧路湿原川レンジャー学習会」を令和4年9月28日に開催し、13名が参加しました。今回は、しべちや水辺の楽校において釧路川の「水質・水生生物調査」に参加しました。



釧路川をバックに記念撮影



位置図

北海道開発局による「水質・水生生物調査」の実施について

北海道開発局では、毎年、北海道の主な河川で地域住民の方々と一緒に河川の水質調査を実施しています。平成17年からは釧路湿原川レンジャーも学習会として参加し、今年で16回目になります。

この調査は、川の水質を参加者が直接確認することにより、川に対する感心を高めることを目的としています。第2回学習会では河川の増水のため中止となってしまいましたが、今回の学習会は無事に実施することができました。

標茶町を流れる釧路川の調査の実施状況について

4班に分かれて以下の調査を行いました。

- ① 「川の状態を調べよう」 (川底の感触、水温、流速、透視度など)
- ② 「川の水質を調べよう」 (pH、溶存酸素量、アンモニウム態窒素など)
- ③ 「川の生物を調べよう」 (川にすむ生物をつかまえて観察し、川のきれいさを判定するなど)

1. 川の状態を調べよう



透視度測定

2. 川の水質を調べよう



COD等の測定

3. 川の生き物を調べよう



生き物の観察

調査結果

各班の調査結果を表-1,表-2にまとめました。『人と河川の豊かなふれあいの確保』に該当する項目はBランクになりました。『豊かな生態系の確保』は、「簡易水質調査」、「川の水生生物調査」の項目はAランクになりました。標茶町に流れる釧路川の環境が非常に良好である結果となりました。これからも、きれいな釧路川の環境を守っていきましょう。

表-1 人と河川の豊かなふれあいの確保(遊びやすさ)の調査結果

ランク	説明	ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水のおい	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)
A	顔を川の水につけやすい	川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ごみはあるが全く気にならない	100以上	快適である(素足で入りたいと感じる)	不快でない	100以下
B	川の中に入って遊びやすい	川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない(履物があれば入りたいと感じる)		1000以下
C	川に近づきやすい	川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である(履物をはいても入りたくない)	水に鼻を近づけると、不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の水の魅力がなく、川に近づきにくい	川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満		水に鼻を近づけると、とても不快な臭いを感じる	

表-2 豊かな生態系の確保(生き物の住みやすさ)の調査結果

ランク	説明	溶存酸素量 DO(mg/L)	アンモニウム態窒素 NH ₄ -N(mg/L)	水生生物の生息
A	生物の生息・成育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワケラ ・ナガレトビケラ 等
B	生物の生息・成育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきかない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ 等
C	生物の生息・成育・繁殖環境として良好とはいえない	3以上	20以下	III. きかない水 ・ミスムシ ・ミスカマキリ 等
D	生物の生息・成育・繁殖しにくい	3未満	20を超えるもの	IV. 大変きかない水 ・セスジスリカ ・チョウバエ 等

☆当日採取した糞便性大腸菌群数は、分析した結果 100個以下/100mLでした。

調査結果を真剣に聞く参加者の皆さま

参加された皆さま
大変お疲れさまでした



観察活動の報告

川レンジャーより観察活動の報告がありました。

今後も釧路湿原川レンジャーNewsに紹介していきます。みなさまからの活動報告をお待ちしております。

報告日	報告内容
令和4年4月22日	動植物の目撃 ①
令和4年8月17日	動植物の目撃 ②
令和4年8月26日	動植物の目撃 ③



動植物の目撃 ①

見たことの無い動物を撮りました。

本を調べても解らず、温根内ビジターセンターに行き写真を見せたところ「エゾクロテン」でした。



動植物の目撃 ②

タンチョウの親子が、交通量の多い国道を渡っていました。「動物注意」、「スピードダウン」の看板設置を要望します。⇒ 釧路道路事務所 で注意看板を設置予定です。



撮影: 環境コンサルタント(株)

動植物の目撃 ③

JR細岡駅から細岡展望台に至る道路2箇所ほどでオオハンゴンソウの生育を確認しました。

